

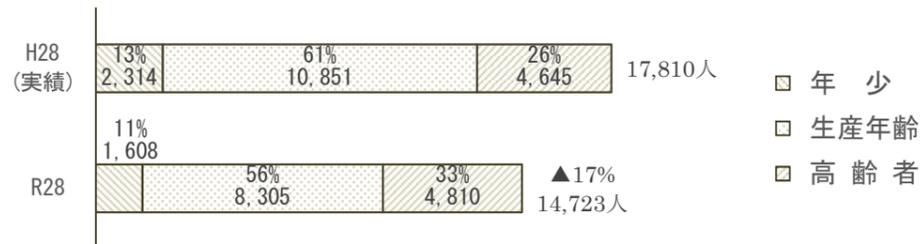
【概要】

① 地域概況、動向

- ・地域北部には住宅地が広がっており、市街地を形成する人口集中地区となっている。
- ・南部には水田地帯が広がっており、西部は鳥屋野潟に面し、周辺が広域公園に指定されている。
- ・また鳥屋野潟南部には食育・花育センターや県営野球場、サッカー場を始めとする大規模な公共施設が集積している。
- ・地域中央を通る亀田バイパスや弁天線などにより、市中心部への交通アクセスは良好である。
- ・小学校区2校区で構成されており、公共施設は地域内に分散して立地している。
- ・地域内のコミュニティ活動の拠点は、弥彦村所有の山潟会館となっている。

② 将来推計人口【図-1】

- ・人口減少、少子・高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト		
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい	
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい
⑤ひまわりクラブ	山潟ひまわりクラブ第1	●		●		●
	山潟ひまわりクラブ第2			●		●
	山潟ひまわりクラブ第3			●		●
	桜が丘ひまわりクラブ第1					
	桜が丘ひまわりクラブ第2	●		●		
	桜が丘ひまわりクラブ第3			●		●
	桜ヶ丘ひまわりクラブ第4					
⑦高齢者福祉施設	老人憩の家山潟荘	●		●		●
⑩保育園	山潟保育園					
⑪学校教育施設	山潟小学校					
	桜が丘小学校					
	山潟中学校	●				

※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…⑦、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/園児数…⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）

※2 利用率評価の指標：-

※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…⑦、㎡/園児数…⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討課題

I の考え方を基本に、II のそれぞれのサービス機能ごとの考え方に基づいて最適化を検討する必要がある。

I 共通の方針に基づく検討事項

- ・誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を図る。
- ・特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を検討する必要がある。

II 施設種類ごとの配置方針に基づく検討事項

【コミュニティ系施設】

- ・地域内のコミュニティ活動の拠点は、現状弥彦村所有の山潟会館となっており、市有施設ではない。地域の活動拠点としての機能維持を前提としつつ、公平にサービスを提供する仕組みを検討する必要がある。

【高齢者福祉施設】

- ・老人憩の家 山潟荘は、配置方針に基づき、更新を行わないため、多世代交流が可能な地域拠点施設への機能移転を検討する必要がある。

【保育園】

- ・山潟保育園は、配置方針に基づき、地域の教育・保育をけん引する役割や子育てにおける地域のセーフティネットの役割を果たす市立の「基幹保育園」として存続していくか、民営化を進めるかを検討する必要があるとともに、新・すこやか未来アクションプラン第2期計画上、耐用年数（木造30年、鉄骨50年）に到達していると整理しており、早急に検討する必要がある。

【学校教育施設】

- ・山潟小学校、桜が丘小学校、山潟中学校は適正規模校であるが、配置方針に基づき、施設の効率的な利用を目指し、余裕教室が生じた場合は、教育活動や学校運営に支障のない範囲で利活用を検討する必要がある。また、山潟中学校は施設の老朽化による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。

■ 将来推計人口【表-2】(H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計)

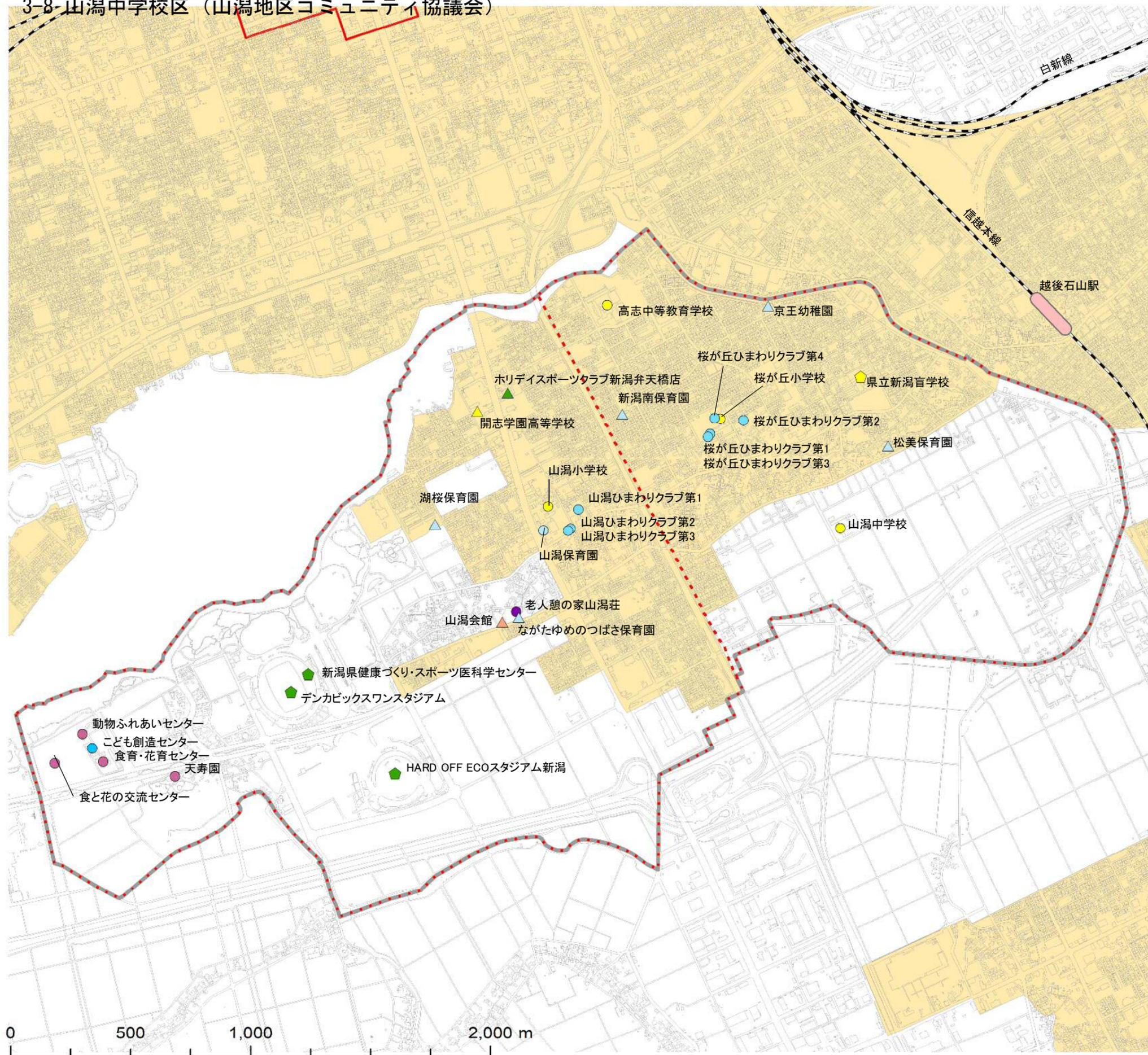
	H28(実績)	R8	R18	R28	増減(増減率)	
地域全体	17,810人	17,339人	16,170人	14,723人	▲3,087人	▲17.3%
高齢者(65歳以上)	4,645人	5,008人	4,734人	4,810人	165人	3.5%
生産年齢(15~64歳)	10,851人	10,243人	9,660人	8,305人	▲2,546人	▲23.5%
年少(14歳以下)	2,314人	2,087人	1,775人	1,608人	▲706人	▲30.5%

■ 児童生徒・学級数推計(通常学級)【表-3】

校名	R1(実数値)		R7(推計値)		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
山潟小学校	358	12	409	16	51	4
桜が丘小学校	496	18	482	18	▲14	0
山潟中学校	408	13	432	14	24	1

3 中央区

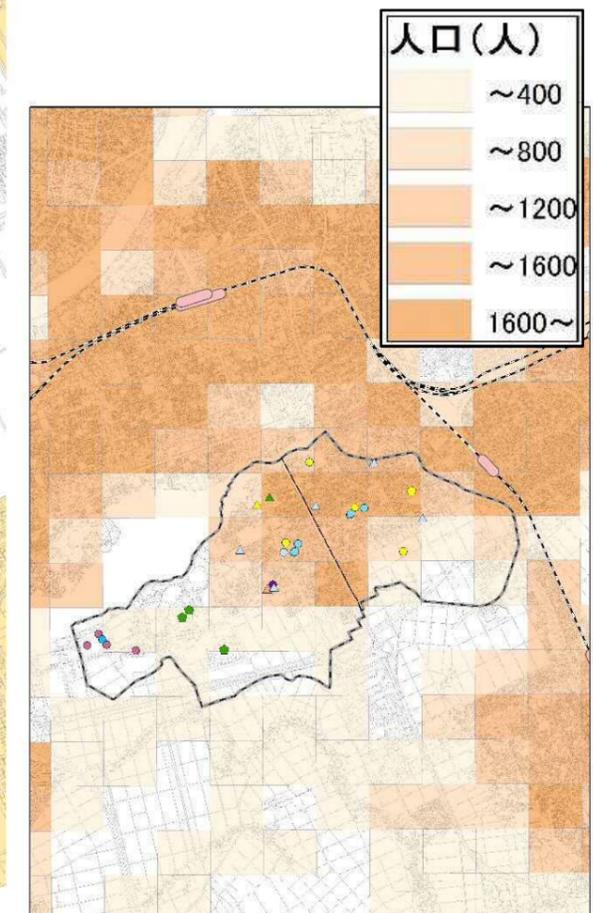
3-8-山潟中学校区 (山潟地区コミュニティ協議会)



凡例

- ひまわりクラブ
  - 子育て支援施設
  - 高齢者福祉施設
  - 保育園
  - 学校教育施設
  - レクリエーション施設
  - スポーツ施設(県保有施設)
  - 学校教育施設(県保有施設)
  - コミュニティ系施設(民間施設)
  - スポーツ施設(民間施設)
  - 保育園(民間施設)
  - 学校教育施設(私立)
- ⋯ 小学校区
  - 中学校区
  - 都市機能誘導区域
  - 居住誘導区域

平成27年国勢調査  
人口分布図 (500mメッシュ)



0 500 1,000 2,000 m

※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

3 中央区

3-8 山潟中学校区（山潟地区コミュニティ協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析領域		
			圏域区分	複合施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量				
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)	偏差値	実績(全市平均)	実績(全市平均)		偏差値	
ひまわりクラブ	L	山潟ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域		S63	100	100	R10	101.85	一種住居	山潟地区			○	○	19.5 万円/人/年 (14.7)	37.6	2.8 ㎡/児童数 (2.6)	-	48.2	4	
ひまわりクラブ	L	山潟ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域		H21	-	100	R31	115.02	一種住居	山潟地区			○	○	22.2 万円/人/年 (14.7)	30.7	3.3 ㎡/児童数 (2.6)	-	42.1	4	
ひまわりクラブ	L	山潟ひまわりクラブ第3	Ⅲ. 地域		H28	-	100	R38	119.88	一種住居	山潟地区			○	○	20.3 万円/人/年 (14.7)	35.6	3.4 ㎡/児童数 (2.6)	-	40.5	4	
ひまわりクラブ	L	桜が丘ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域		H18	-	100	R28	154.85	一種中高層住居	山潟地区				○	12.3 万円/人/年 (14.7)	56.2	1.8 ㎡/児童数 (2.6)	-	59.2	1	
ひまわりクラブ	L	桜が丘ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域		H1	100	100	R11	101.85	一種中高層住居	山潟地区			○	○	17.6 万円/人/年 (14.7)	42.6	2.1 ㎡/児童数 (2.6)	-	56.0	3	
ひまわりクラブ	L	桜が丘ひまわりクラブ第3	Ⅲ. 地域		H28	-	100	R38	119.88	一種中高層住居	山潟地区			○	○	18.0 万円/人/年 (14.7)	41.6	2.9 ㎡/児童数 (2.6)	-	46.3	4	
ひまわりクラブ		桜ヶ丘ひまわりクラブ第4	Ⅲ. 地域		R1	-	100	R41	121.31	一種中高層住居	山潟地区				○							
高齢者福祉施設	O	老人憩の家山潟荘	Ⅲ. 地域		S61	100	100	R8	197.89		山潟地区				○	1,582.0 円/人/回 (952.1)	43.6	19.6 人/日 (51.8)	9.9 人/100㎡/日 (11.5)	47.5	4	
保育園	K	山潟保育園	Ⅲ. 地域		S54	74	97	H31	717.13	準住居地域	山潟地区			○	○	100.9 万円/人/年 (115.5)	54.5	6.6 ㎡/園児数 (9.2)	-	60.1	1	
学校教育施設	H	山潟小学校	Ⅲ. 地域		S49 ~ H12	47	99	R19	6,403.40	一種住居	山潟地区	○		○	○	51.9 万円/人/年 (83.6)	57.3	16.8 ㎡/人 (24.4)	-	54.9	1	
学校教育施設	H	桜が丘小学校	Ⅲ. 地域		S57 ~ S57	51	100	R24	7,965.16	一種中高層住居	山潟地区	○		○	○	55.1 万円/人/年 (83.6)	56.6	15.5 ㎡/人 (24.4)	-	55.8	1	
学校教育施設	I	山潟中学校	Ⅲ. 地域		S58 ~ H9	76	100	R25	7,749.41		山潟地区	○			○	66.3 万円/人/年 (91.6)	56.4	18.5 ㎡/人 (31.3)	-	56.7	1	
レクリエーション施設	G	天寿園	Ⅱ. 区域		S63 ~ H7	-	100	R30	2,101.65		山潟地区			○	○	480.0 円/人/回 (297.6)	42.8	314.2 人/日 (324.4)	-	45.6	4	
子育て支援施設	M	こども創造センター	Ⅰ. 全市域		H25	20	100	R55	2,990.53		山潟地区			○	○	402.0 円/人/回 (836.5)	63.5	763.2 人/日 (67.5)	25.5 人/100㎡/日 (14.4)	69.5	1	
学校教育施設	-	高志中等教育学校	Ⅰ. 全市域		S55 ~ H28	68	100	R22	16,860.34	一種中高層住居	山潟地区	○			○	-		-	-			
レクリエーション施設	G	食育・花育センター	Ⅰ. 全市域		H23	17	100	R53	2,861.11		山潟地区	○		○	○	188.0 円/人/回 (297.6)	55.7	1,148.9 人/日 (324.4)	-	62.9	1	
レクリエーション施設	G	食と花の交流センター	Ⅰ. 全市域		H26 ~ H27	15	100	R56	3,887.75		山潟地区			○	○	58.0 円/人/回 (297.6)	61.4	1,623.1 人/日 (324.4)	-	72.6	1	
レクリエーション施設	G	動物ふれあいセンター	Ⅰ. 全市域		H24	24	100	R54	1,657.88		山潟地区			○	○	189.0 円/人/回 (297.6)	55.6	1,036.2 人/日 (324.4)	-	60.5	1	

【記載の条件】 一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	HARDOFFECOスタジアム新潟、デンカビッグスワンスタジアム、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター、県立新潟盲学校
地域内の民間類似施設	京王幼稚園、湖桜保育園、松美保育園、新潟南保育園、ながたゆめのつばさ保育園、ホリデイスポーツクラブ新潟弁天橋店、山潟会館（弥彦村所有）、開志学園高等学校